

日本には  
「春」といわずに  
春をあらわす言葉がたくさんある。  
山笑う、<sup>さえずり</sup>嘽、<sup>くさもえ</sup>風光る、草萌、  
花曇り、<sup>おぼろつき</sup>朧月、<sup>こち</sup>東風、<sup>うくいす</sup>鶯……。

季語の成り立ちは諸説あるが、その概念は  
平安時代後期に生まれたという。  
それから1,200年もの間、詩歌の世界や  
季節の便りに用いられてきたのだ。

今、日本の四季は  
二季になりつつある。

「山笑う」と耳にして目に浮かぶ雄大な景色  
「嘽」と目にして思い起こす愛らしい鳴き声

そして「春」がもつ麗らかな温かみと  
「日本」がもつすべての豊かさが  
この先の未来も  
失われないことを願いたい。

# 山笑い鳥が<sup>さえず</sup>嘽る恋の唄

2025年	4月	1	2	3	4	<u>5</u>	<u>6</u>	7	8	9	10	11	<u>12</u>	<u>13</u>	14	15	16	17	18	<u>19</u>	<u>20</u>	21	22	23	24	25	<u>26</u>	<u>27</u>	28	<u>29</u>	30	
	5月	1	2	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>6</u>	7	8	9	<u>10</u>	<u>11</u>	12	13	14	15	16	<u>17</u>	<u>18</u>	19	20	21	22	23	<u>24</u>	<u>25</u>	26	27	28	29	30	<u>31</u>


 ぐるたーより

鳥の鳴き声は一年中間くことができますが、春の季語である「囀たまげり」は、求愛や縄張りを知らせる鳴き声を指します。春になると鳥たちは繁殖期を迎え、恋の唄を歌うのです。

さえずりの代表例ともいえる、うぐいすの「ホーホケキヨ」ですが、実は「ホー」は吸う息で「ホケキヨ」は吐く息だそう。意外と難しいことをしているので、最初から上手くは鳴けません。親や周りの鳴き声を真似て、練習を重ねに重ねて上達していくので、相手の心に響く恋の唄になっているのです。

また、鳴くのが下手なうぐいすが集まる山では、ちょっと下手な鳴き方が、代々受け継がれてしまっているんだとか……。「誰を手本にするのか」というのも、上達への近道なのかもしれませんね。

春は始まりの季節。新入社員を迎える企業様もあるでしょうし、プライベートで何かを始めるという方もいるでしょう。

大事なものは、自分が良い手本になること。また、良い手本をチョイスすることでしょうね。

次回は6月にお届けします。

どうぞ健やかに、お過ごしください。



情報のデザインで安心とよろこびを

 デルター株式会社

<https://www.deltar.co.jp/>

〒444-0863 愛知県岡崎市東明大寺町9-10

TEL : 0564-65-1088 FAX : 0564-65-7060 E-mail : info@deltar.co.jp